

令和2年度「県民ふるさと大賞」表彰団体の功績概要

(五十音順・敬称略)

■ 5 団体

いみずしりつほうじょうづしょうがっこう ○射水市立放生津小学校（射水市）

「ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとに生きる子供の育成」を実践テーマとして掲げ、ふるさと学習を含めた教育活動に全校体制で取り組んでいる。

全校児童による地域巡り「なかよしウォークラリー」により、内川の魅力やふるさとのよさを再発見し、その魅力をマス目に取り入れた「はとっ子すごろく」を制作（3年生）し、全家庭へ配布した。

伝統文化・歴史・人・特産物・施設等を生かしたふるさと射水への愛着を育む学習を推進し、地域ボランティアの協力により「のじた踊り」（3年生）、「めでた踊り」（4年生）の継承学習を行い地域に発信している。

こうえきしゃだんほうじん とやまけんやくざいしかい ○公益社団法人 富山県薬剤師会（富山市）

くすりの専門家として、県民への医薬品の適正使用の啓発に努めるとともに、県民の健康サポートや地域包括ケアに貢献できるよう、かかりつけ薬剤師・薬局によるお薬・健康相談等に積極的に取り組み、県民の保健衛生の向上に貢献している。

また、県内の中学生・高校生が薬剤師や医薬品に関わる仕事に対する理解を深め、進路選択の参考としてもらうことを目的に、「薬剤師のお仕事体験学習事業」を実施するなど、本県の医薬品産業の発展に大きく貢献している。

たかおかしりつせいびこうみんかん ○高岡市立成美公民館（高岡市）

高齢者や大人、子どもが興味を持つような活動を多く実施し、特に、祖父母と孫でも参加できるよう家族を対象とする活動の実施により、地域において広い世代が交流できる場を創出している。

活動については、地域で活躍している方に指導を依頼し、地域を知ることができる社会見学や伝統工芸のものづくり体験などを多数開催し、地域の魅力発見に力を入れている。また、SNSにより、公民館活動を動画やパノラマ写真などにより紹介することで、公民館だけでなく、地域の魅力を積極的に発信している。

とやまらいちょうけんきゅうかい ○富山雷鳥研究会（富山市）

昭和53年から立山における保護対策の一環として始まったライチョウの生息環境・生態調査において、個体ごとに標識リングを使用する現地調査を実施し、精度の高いデータを蓄積している。ライチョウの生態について資料文献を収集し、行政・関係諸団体との交流連携を図り、ライチョウ保護に関する提言を行っている。

また、立山室堂における講座等の開催や、平成27年度からはライチョウ保護ボランティアの中心的存在としてライチョウ及び高山帯の自然保護に関する啓蒙・普及活動を行っている。

にいかわこだいじんぼんかい ○新川古代神保存会（滑川市）

昭和38年に地元有志による保存会発足後、伝統芸能として新川地方に広く伝承されてきた盆踊り「新川古代神」の発展・存続をより強固なものとするため、市内小中学校の児童・生徒や地域の若者への伝承活動を行っており、踊りの担い手育成や踊りの普及に向けて尽力している。

毎年7月のふるさと龍宮まつりでは、約2,000人の踊り手が「新川古代神」の街流しを行う壮大なイベントになっている。また富山県民謡民舞大会には、滑川市から唯一出場するなど市内外への周知に努めている。